

ロシア主要都市における  
日本産農林水産物・食品の  
販路拡大支援事業  
テスト販売参加事業者募集要項

テスト販売期間：2017年10月～12月

## 本事業について

本事業は、農林水産省の「農林水産物・食品輸出促進対策事業のうち、中堅・中小食品関連企業海外展開特別対策事業」における補助事業の一部として、株式会社JTBCコーポレートセールスが運営事務局となり実施されます。

## 本事業の概要・目的

本事業は、ロシアの主要2都市において、日本産農林水産物に関わる食品の試験販売を実施するマーケティング拠点（以下「インスタショップ」という）を設置し、インスタショップにてマーケティングのための試験販売を行い、ロシアの消費者の嗜好性等を把握し、事業者による商品開発・改良、輸出計画の立案及び実際の商談への活用につなげ、輸出促進や試験販売による日本産農林水産物等の魅力を発信し、信頼性向上と普及を図るために支援します。

## 本事業の実施方法

### ①試験販売のための商品の選定

出品商品は、全国各地から公募した農林水産物に関わる食品の中から、インスタショップを設置する都市の食品事情や食の嗜好等に精通した者の意見を踏まえ、現地市場における日本食の普及度や現地の購買力等を参考にして、市場に定着する可能性のある商品を農林水産省と協議の上選定します。また不採択となった出品希望者に対しては、不採択の連絡を致します。

### ②試験販売のためのマーケティング情報の収集・提供

出品を扱う見込みがある卸売業及び小売業のバイヤーやレストラン関係者などをリスト化するとともに、インスタショップを設置する都市の食品事情・食の嗜好等、マーケティングに関する情報を収集し、また必要に応じてそれらの情報を出品商品の提供者に提供します。

### ③出品商品のプロモーション

味付けや付け合せを現地消費者に受け入れやすいよう工夫した出品商品の試食・試飲、飲食方法・使い方の説明、出品商品を活用した現地向けレシピの提供等、出品商品のプロモーションを行います。

### ④出品商品に係る試験販売の結果の取り纏め

出品商品の販売期間、販売価格・個数、購買相当の試験販売の結果を取り纏めます。

### ⑤出品商品に係るアンケートの実施

現地の消費者、輸入業者、流通業者等にアンケート調査を行い、出品商品の味、当該商品に対する評価・意見などの情報収集を行います。

### ⑥出品者へのフィードバック

出品商品の試験販売の結果やアンケート調査結果を農林水産省に報告し、その確認を得た上で出品者へフィードバックします。

## 事業全体スケジュール

本事業は、以下の流れに従い進める予定です。

- (1) 事前セミナー&説明会: 2017年6月26日(月)
- (2) 参加企業募集期間: 2017年6月26日(月)~7月14日(金)
- (3) 参加企業・対象商品の選定(関係者ヒアリング等): 2017年7月20日(木)
- (4) EAC申請・輸出入手続き・輸送・通関・保管・配送: 2017年7月21日(金)以降
- (5) テスト販売: 2017年10月から12月の約3カ月間
- (6) アンケート回収・集計: 2018年1月から2月
- (7) テスト販売結果報告: 2018年3月頃

支援内容項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 事前セミナー&説明会	↔									
(2) 参加企業募集期間	←→									
(3) 参加企業・対象商品選定		↔								
(4) EAC申請・輸出入手続き・輸送・通関・保管・配送		←→								
(5) テスト販売					←→					
(6) アンケート回収・集計								←→		
(7) テスト販売結果報告										↔

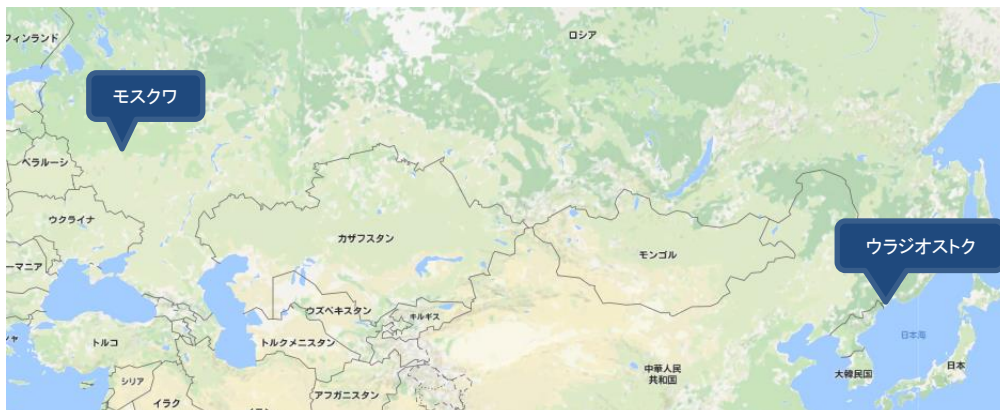
## テスト販売実施都市 モスクワ・ウラジオストク

### モスクワ

ロシア連邦の首都、人口は約1150万人でヨーロッパで最も人口の多い都市であり、世界有数の都市である。面積は2,511km<sup>2</sup>。平均気温は10月5.2℃、11月-1.2℃、12月-5.2℃。

### ウラジオストク

ロシア極東部の最大の港湾都市で、沿海地方(プリモールスキイ地方)の州都である。シベリア鉄道の終点。人口は約59万人。面積は561.54 km<sup>2</sup>。平均気温は10月8.9℃、11月-9℃、12月-9.0℃。



## ロシア農林水産物・食品マーケティング基本情報

農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報 2017年2月 JETRO より引用

人口	1億4,654万人(2016年1月、ロシア連邦国家統計局)
在留邦人	2,758人 (外務省「海外在留邦人数調査統計」平成28年要約版)
日本食レストラン数	約1,000店 (関係者推計(モスクワ市内))

### 日本からの農林水産物輸出状況 (2015年/財務省貿易統計(確定値)より)

**20位 32億円 うち農産物18億円(56.6%)、林産物0.2億円(0.6%)、水産物14億円(42.8%)**

輸出額の多い品目：さんま、すけとうだら、アルコール飲料、インスタントコーヒー、コーヒー、清涼飲料水、菓子、ソース  
混合調味料

### 味覚、嗜好上の特徴

程よい味付けを好む。辛いもの、酸味の強いものは好まない。  
調味料だけは日本製品にこだわる日本食レストラン、飲食店が複数ある。  
機能性食品、サプリメントは「日本食品＝安全・安心」のイメージで受け入れやすい。

### 検疫・安全規制等

畜産物：牛肉は二国間条件を満たす必要がある。豚肉、鶏肉は輸入を認めていない。原則、ロシアで流通する製品には、品質と安全性が国家規格に適合しているという規格認証の取得が必要で、商品に認証取得済みマークを表示することになっている。また、輸入通関時には、税関でそれを証明する書類の提出が必要。

### その他マーケット情報

ロシア人の好みとして、外国料理の中ではイタリア料理に次いで日本食の人气が第2位(2013年ジェトロ調査結果)である。モスクワ市内には日本食を扱う店舗は1,000店近くあるとも言われ、関心は非常に高い。一方で価格の問題により、中国・韓国産の類似品が多く使われているのが現状。



## テスト販売実施情報(予定)

### モスクワ

#### ① NIPPON 日本食材店

「NIPPON」は、2012年10月15日にオープンした日本食品専門店。モスクワ市内に4店舗展開。



#### ② GLOBUS GOURMET VREMENA GODA 高級スーパー。

「VREMENA GODA」という高級ショッピングモールの中に位置している店舗です。

住 所: Moscow, Slavyansky Bulvar station, Kutuzovsky prospekt, bld.48

URL : <https://globusgurme.ru/en/contacts/shops/>

URL : <http://www.vremena-goda-moscow.com>



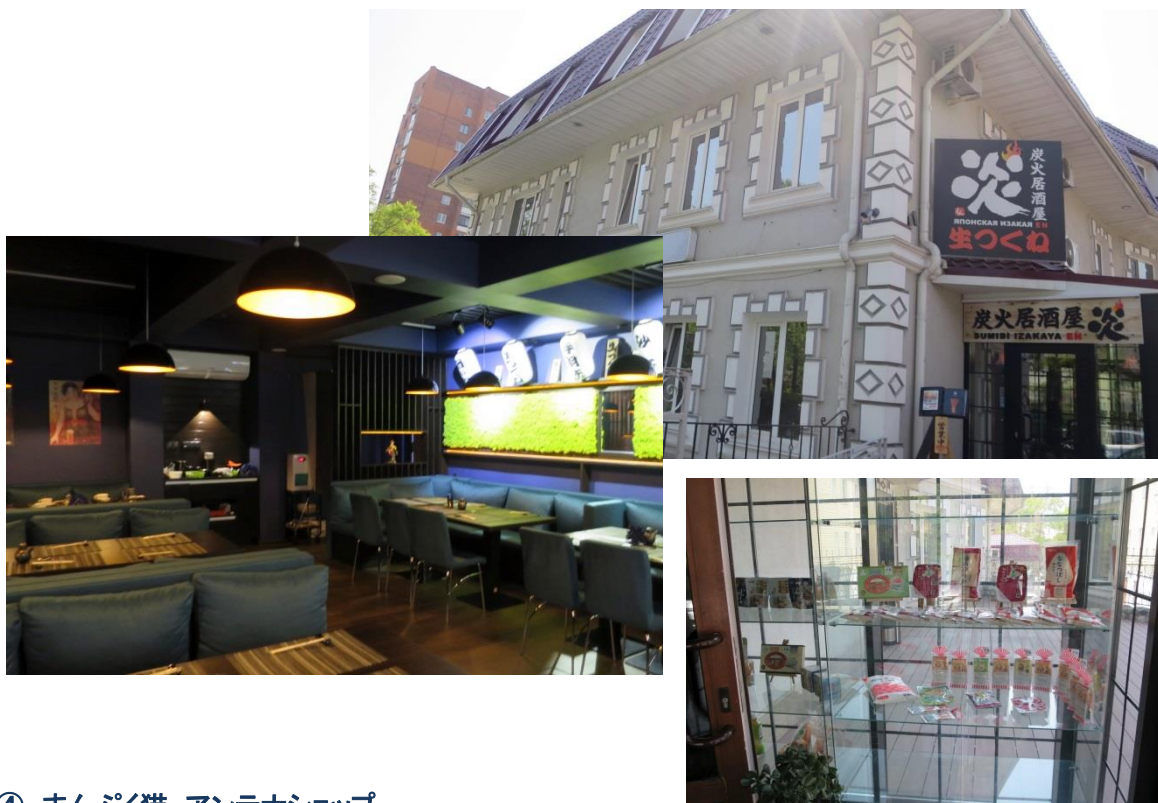
ウラジオストク

③ 炭火居酒屋 炎

飲食店、食物販、工場を運営する株式会社伸和ホールディングス(本社:札幌市西区)が2017年4月上旬「炭火居酒屋 炎」ロシア極東ウラジオストク店を展開。

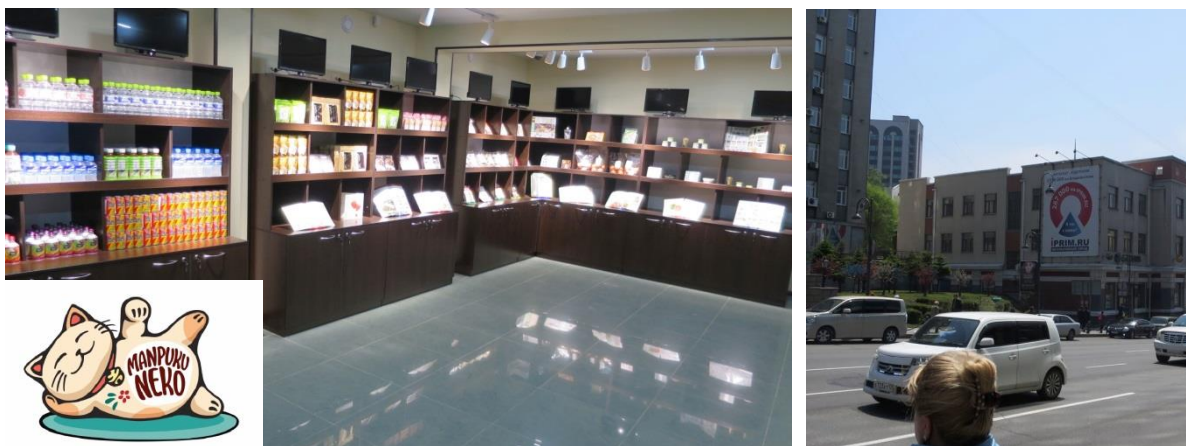
住 所:690014 ロシア沿海州ウラジオストク ベストウジェバ通り 35b 212

URL : <http://www.sumibiizakaya-en.sakura.ne.jp/shinwa-holdings-co-jp/>



④ まんぷく猫 アンテナショップ

ウラジオストク中央広場から徒歩2分、バス停前。半径100m以内に市役所やセンタービルが立ち並びます。



## テスト販売の実施概要

### 1. テスト販売

実施期間： 2017年10月～12月の3カ月間

実施都市： モスクワ ウラジオストク の2都市

実施予定場所： 日本食材を取扱う日本食材店、アンテナショップ、レストラン、高級スーパー

出品商品： 日本産農林水産物・食品10～20品(予定)

主要ターゲット：健康に関心のある一般生活者

主要テーマ：日本食で健康マネジメント(からだが好き日本食をロシアへ)

### 2. テスト販売支援の基本ステップ

- ・事前に小売りから「定番化を目指したテスト販売」であることの趣旨賛同を得ます。
- ・小売りやインポーターとの丁寧な事前交渉により、輸入規制をクリアし、バイヤーの声を反映した商品を選定します。
- ・現地消費者からの事前ヒアリング等により、マーケットインの発想で「消費者との効果的なコミュニケーション方法(商品特徴訴求方法・試飲試食方法)」を模索し、販促ツールやプロモーター教育へ反映させます。 ※商品説明スタッフ費、売り場装飾、販促ツール等は事業で負担。
- ・必要な什器、装飾等を手配し、試験販売する出品商品の輸送・在庫管理・陳列等を行います。
- ・売上等のフィードバック、定番化後のステップをサポートします。

### 3. テスト販売のイメージ

- ・フェア的になぎわい演出にも配慮しますが、あくまでも定番化に向けた「検証と情報収集」を第一目的とします。
- ・ロシア語のPOPを用意するなど、丁寧な情報発信により、商品に対する理解を促進します。
- ・現地プロモーターを起用し、試飲試食を展開します。
- ・試飲試食に当たっては、事前にマニュアル等を用意し、おもてなしの精神で対応をいたします。

### 4. 諸注意

- ・肉類・海産物・アルコール類(6%以上)はEAC(ロシア規格認証)取得済の場合のみテスト販売が可能です。  
(モスクワではアルコール類(6%以上)の販売ライセンスが無い為、テスト販売は出来かねます。)
- ・輸出入に必要な情報や書類は、確実に提供し頂くことを条件とさせていただきます。(日本語)
- ・出港する港は、東京、鳥取、富山、北海道のいずれかで、港の指定倉庫までの配送費用は、各社ご負担となります。
- ・EAC取得に伴い必要な書類と情報  
メーカー名と住所、電話番号・工場の出荷証明・品質証明・成分表など、商品毎に必要な書類・検疫証明書・原産地証明書・燻蒸証明書が必要です。

## 募集要項

### 応募要件

ロシアへ輸出可能な農林水産物の中から、ロシアの食品事情や食の嗜好等を踏まえ、日本食・食文化の魅力が伝わる農林水産物・食品。  
PL(製造物責任)保険(一般の損害保険会社等で販売している賠償責任保険でも可)に加入していること。  
食品衛生法、JAS法等の表示義務に対応できていること。

### テスト販売数

- ①テスト販売は120+30試飲・試食用合計150個を、(8月8日迄に)指定の日本の倉庫まで送付。
- ②EAC申請・輸入関税・輸送費・配送費は、事業費にて行います。
- ③送付頂いた商品のお戻しはございません。

### 【応募方法】

応募者は、応募に係る書類一式を書類提出期限までに、<http://www.lapita.jp/>より申込書をダウンロードし、株式会社JTBコーポレートセールス [lapita@bwt.jtb.jp](mailto:lapita@bwt.jtb.jp) 迄送付願います。

### (1) 参加申込書の様式

- ①参加申込書は指定の様式を使用し作成してください。
- ②参加申込書は必要事項をもれなく記入しご提出ください。

### (2) 提出書類

- ①別紙の参加申込書(A4サイズ) 1枚  
<https://reg.lapita.jp/public/seminar/view/211> より参加申込書をダウンロードし、右記アドレスまで送付願います。 [lapita@bwt.jtb.jp](mailto:lapita@bwt.jtb.jp)

### (3) 書類提出について

- ①**書類提出は、7月14日(金)17時までの受付と致します。**
- ②提出は上記指定のメールアドレス宛てにエントリー願います。
- ③FAXでの提出は受付致しませんのでご注意ください。

## 審査及び採択

### (1)「委員会より選定」

提案書類を基に、農林水産省及び株式会社JTBコーポレートセールスで構成する委員会にて採択事業者を選定いたします。審査終了後、提案事業者の担当者宛に、結果通知をいたします。審査結果の通知は7月20日頃を予定しております。通知はご担当者様にメールにて行います。

### (2)選定出品数

概ね10～20品を予定しています。

### (3)選定基準

以下の条件を満たす商品を製造する事業者の方とします。

- ①日本産農林水産物を生産・製造・加工を行っている方。
- ②本事業に適合するテスト販売を実施するものと認めた方。

#### 〈運営/申込み先事務局〉

〒163-0426 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル26階  
株式会社JTBコーポレートセールス 新宿第五事業部 グローバルビジネス推進課  
ロシアサポートデスク 担当:市川・東・坂井  
TEL:03-5909-8091 FAX:03-5909-8110 e-mail: [lapita@bwt.jtb.jp](mailto:lapita@bwt.jtb.jp)